

【研究概要】

急性骨髄性白血病において新たに認められた遺伝子変異 (Flt3、NPM1、CEBPA、MLL、N-RAS、K-RAS、TP53、KIT、RUNX1、WT1、ASLX、IDH、DNMT3A、TET2、BCOR 遺伝子群、Cohesin 遺伝子群など) が予後規定因子となるかを検討する。